

日産車体株式会社 投資家向け説明会（2017年6月開催） 質疑応答 概要

<回答者>

代表取締役社長 木村 昌平
.....

Q 対処すべき課題に記載の新中期経営計画について

A 今期から始まる新中期経営計画では、2022年までの6か年を見据え、3つの競争力、すなわち商品、工場、技術・技能の競争力で、将来に渡る強靱な企業基盤の確立を目指してまいります。

まず商品の競争力では、「魅力ある商品による生産台数と売上の拡大」を目指してまいります。LCVやコンバージョンの市場ニーズを捉えた商品を提案することで日産車体九州でのフル生産の継続と、湘南工場の台数拡大を目指します。

2つ目の工場の競争力では、「品質 No1,お客様から信頼される工場」を目指してまいります。この中計では、九州と湘南の2つの柱を一本化することで、それぞれの強みや、優れた仕事のやり方を共有し、日産車体としての特長の確立を目指します。

3つ目の技術・技能の競争力では、当社生産車の次世代化に確実に対応できる、技術の確立を目指してまいります。LCVは日産車体に任せたい”をスローガンとしたこれまでの取り組みに、当社にとって、今後さらに重要な位置づけと捉えているフレーム車の開発、生産技術を加え、2022年までに「LCV・Frame車のモノづくりグローバル技術拠点」となることを目指してまいります。

Q 支払利息の内容について

A ファイナンスリースの利息、従業員預金利息などです。

以上